

令和7年度 県民芸術劇場公演

千葉交響楽団と仲間たちによる

木管五重奏の響き

～冬を彩るクラシックの名曲～

ホルン
大森 啓史

ファゴット
磯崎 早苗

フルート 西下 由美

オーボエ 大庭 蓉子
©T.Tairadate

クラリネット
伊藤 めぐみ
©Ayane Shindo

エルガー／愛の挨拶
曲目 イベール／3つの小品
チャイコフスキー／
バレエ音楽「くるみ割り人形」より
行進曲、アラビアの踊り、トレパック
クリスマスソングメドレー ほか

※やむを得ない事情により曲目等が
変更になる場合があります。

公演日

令和7年 **12月6日(土)** 午後2時開演
午後1時15分開場

会場

船橋市民文化創造館
(きららホール)

〒273-0005 船橋市本町1-3-1 フェイスビル6階
(JR・東武船橋駅南口、京成船橋駅東口 徒歩2分)

お申込み
お問合せ

TEL.047-423-7261

チケット受付時間／午前9時～午後8時
(土日祝日午後5時まで／毎月最終月曜休館)

主催：千葉県・船橋市民文化創造館 **きららHall**

入場料

全席指定

※未就学児入場不可

一般…………… 2,000円

ペアチケット…… 3,600円

高校生以下…… 1,000円

チケット
発売日

令和7年8月26日(火)
午前10時から

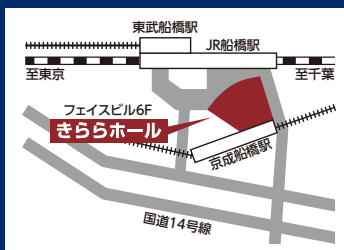
※窓口発券・発売は、
令和7年8月27日(水)午前10時から

オンライン
チケットシステムでの
購入はこちら！

船橋 きらら チケット

検索

<https://piagetti.s2.e-get.jp/fnbsbkhall/pt/>
※チケット代のほか、手数料が必要な場合があります。



Player profile

フルート 西下 由美

(千葉交響楽団)

東京音楽大学卒業。コンセール・ヴィヴァン新人演奏会、レインボー21サントリーホールデビューコンサート、東京音楽大学新人演奏会、くにたち文化・スポーツ振興財団スタジオコンサート等に出演。2004年ミシガン大学フルートワークショップオーディション合格、パフォーマーとして参加。2008年オーケストラEnsemble Roca 第3回定期演奏会にて、植田彰作曲フルート協奏曲「ヘルメス=トートの軌道」を初演。第7回長江杯国際音楽コンクール管楽器一般部門最高位。第13回、14回フルートコンヴェンションコンクールピッコロ部門第3位。

ソロ、室内楽、オーケストラ、ミュージカル、舞台・映画音楽、ゲーム・アニメ音楽などのコンサート・ツアーに参加し幅広く活動中。これまでにフルートを中野真理、細川順三、本田幸治、大友太郎、上坂学、クラウド・ホワイトの各氏、室内楽を植村泰一氏に師事。

オーボエ 大庭 蓉子

神奈川県出身。12歳よりオーボエを始める。東京音楽大学卒業。第10回東京音楽大学コンクール管打楽器部門第2位受賞。第26回宝塚バグ音楽コンクール木管楽器部門第5位受賞。第31回日本管打楽器コンクールオーボエ部門入選。第29回宝塚バグ音楽コンクール木管部門第3位受賞。第34回日本管打楽器コンクールオーボエ部門第3位受賞。2018年、2019年、2022年、2023年、韓国にて南道国際音楽に参加。ソリストとして千葉交響楽団、韓国の光州市立交響楽団と協奏曲を共演。

オーボエをこれまでに、広田智之氏に師事。また、ヘルムート・ヴィンシャーマン氏の公開レッスンを受講。室内楽をこれまでに、中野真理、内山洋、宮本文昭、安原理喜の各氏に師事。

現在、国内外にて客演首席、客演、ソリストを務めオーケストラや室内楽など、様々な演奏活動を行っている。

2015年から2019年まで (公財) 千葉交響楽団オーボエ奏者。Theater Orchestra Tokyo首席オーボエ奏者。

クラリネット 伊藤 めぐみ

(千葉交響楽団)

愛知県名古屋市出身。幼少の頃よりピアノを、中学入学と同時にクラリネットを始める。桐朋学園大学音楽学部卒業及び東京藝術大学大学院修士課程修了。大学院在学中、文化庁新進芸術家海外留学制度在外研修員としてフランスへ留学。

これまでに、クラリネットを熱田敬一、三界秀実、二宮和子、磯部周平、山本正治の各氏に、フランスではジェローム・ジュリアン＝ラフェリエル、アレクサンドル・シャポー、ニコラ・バルディエールの各氏に師事。

現在、千葉交響楽団クラリネット奏者を務める。

また、都内や千葉県内を中心に後進の指導も積極的に行っているほか、大学院在学時から「日本のクラリネットの歴史」の研究を現在も続けている。

日本クラリネット協会理事。日本演奏連盟会員。

ファゴット 磯崎 早苗

埼玉県出身。東京藝術大学音楽学部を経て、同大学大学院音楽研究科修士課程修了。桐朋オーケストラ・アカデミー修了。ファゴットを塚原里江、岡崎耕治、水谷上総の各氏に師事。室内楽を山岸博、三界秀実、佐久間由美子、水谷上総、渡邊健二の各氏に師事。桐朋オーケストラ・アカデミーにて岡本正之、河村幹子、井上俊次の各氏に師事。2015年に日暮里サニーホールにて第1回リサイタル、2019年にやなか音楽ホールにて第2回リサイタル、2022年に豊洲シビックセンターホールにて第3回リサイタルを開催。現在、フリーランスのファゴット奏者としてオーケストラや室内楽の演奏、後進の指導、ファゴット完成リード「シャインシリーズ」販売、オーケストラのマネジメントなどを行っている。アンサンブル・ジョワイユ、アンサンブル・ミラコ各メンバー。フィルハーモニア・リリカ代表。https://sanafg.com

ホルン 大森 啓史

(千葉交響楽団)

12歳よりホルンを始める。東京藝術大学音楽学部入学を経て同大学大学院を修了。ホルンを小山亮、守山光三、松崎裕の各氏に師事。大学院在学中の1995年より(財)ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉に1・3番ホルン奏者として入団。1998年1月より1年間シカゴへ留学し、故・デール・クレヴェンジャー、故・アーノルド・ジェイコブス両氏に師事した。現在(公財)千葉交響楽団にて1・3番ホルンを務めるほか、エマーノン・プラス・クインテット、エロイカ木管五重奏団、習志野天文部など、室内楽でも活発に活動している。また、大学在学中からナチュラルホルン奏者としても活動を始め、現在に至るまで国内の多くのオリジナル楽器演奏団体に参加、録音している。日本初のプロホルン奏者によるナチュラルホルンのアンサンブル団体である「ナチュラルホルンアンサンブル東京」のメンバーとしても活動しており、2020年にリリースされたCD"re-Discovery"はレコード芸術紙で特選盤に選出されるなど高い評価を得ている。洗足学園音楽大学及び昭和音楽大学非常勤講師。日本ホルン協会常任理事。